は東京府徳に集合した園園、前列石端华城市長、 ましく街頭に進出、宣傳ビラとマッチを配つた、会 が、「槙範選擧は東京から」の標語を集めた得要系 所知事夫人、牛塚市長夫人など二百余名の名流層→ ド五日の選奉粛正デーに吉岡彌生、山田わか、積山 十五日の選奉粛正デーに吉岡彌生、山田わか、積山

「東京國通」カナデイアン、 「東京國通」カナデイアン、 「東京國通」カナデイアン、 「東京國通」カナデイアン、

の四隻中ロシア、アジ 船を引揚げ、残り二個 船を引揚げ、残り二個

よた隻ジアロで面側のシ

された 井方山 で れた外

が指が有次日本船に関

電との網談會に出

いひながら酷寒で寒目

選擧肅正デーに

は就では佛伊爾西代表が英國 に就では佛伊爾西代表は一意順八时 の現行條項を維持したい底意 と見られ受協は可成り困難と と見られ受協は可成り困難と と見られ受協は可成り困難と と見られ受協は可成り困難と ないかとの趣測が強いが、残 ないかとの趣測が強いが、残 ないかとの趣測が強いが、残 ないかとの趣測が強いが、残

太平洋貨客爭奪戰で

外船の營業縮

実を張り二月一日午後一時三示、同夜官民を招待して挑諧

今朝氣溫零下卅一度三、

路局に於て周負に訓

....(日

にロンドン山九日發國通 「国代表の見解は未だ完全に一 数せず創造必ずしも樂観を許 さない、主力整に就ては佛伊四ヶ 順間代表の見解は未だ完全に一 数せず創造必ずしも樂観を許 さない、主力整に就ては佛伊四ヶ 原間代表に於て徹底的縮小を 要求、英國政府も亦風暖順数 要求、英國政府も亦風暖順数

【東京國通】總選擧立候補屆實戰期に入る

神戶海上在鄉軍人會

紀元節に結成

の五分蘭列車で新京さ

が、本日は直ちに

通】大村滿橫副標

杯での日

· 吉林神社、忠靈塔多 · 古林神社、忠靈塔多

を 五分酸あじあで大連へ向け各 を確立の豫定である

七百名突破

南く白熱化の状態を呈してる る間世九日午後五時現在に於 ける国出数は左を五時現在に於 四二本国の二六本記會三九本國民同 四二本部章三九本國民同 四二本部章三九本國民同 一八本中立六九、計七二〇 本、元八四である

まる二十一日率天に於て開會 會及び同二十日振順に於て開 會の同理事會には夫々石崎會 頭及び尾藤理事が出席、尾藤 理事は廿七日勝任したが同氏

右の營更たば聞こ向て 南各日にる我らとふな 問商、来を等すを十二

當局に陳情する皆であるに なるを駆めず、近日の設表によれば我等の要望を暴酌せられば我等の要望を暴酌せられば我等の要望を暴酌せられば我等の要望を暴酌せられば我等の要望を暴酌せられば我等の要望を暴酌せられば我が新京に食力である。 を取りず、近日の設表によれば我等の要望が議してゐるに であるを駆めず、近日の設表によれば我等の要望が議してゐるに であるを認めず、近日の設表によれば我等の要望が議してゐるに である。

常局に |

二萬六千順、橋砲口種十二时 を主張して来つたが境中海作 を主張して来つたが境中海作 の手心を加へる程度に止める に至つた為結局英米兩國代表

一時半官邸に杉山倉田に杉山倉



9 日十 發行 印編受 MINIT

與安北省旗戶

長會議

開催さる

と、勝子は、眼にいつばいの概をしい機管を残して複速してしまふ・

のとが住へを系統、持つてゐない

をあざ残ってるた彼が。彼女の心

質では、世間の類が転をして泣

越登損益 金金金金

日つ來る三月一日新京に於て 財する準備打合せを行ふ事と

間約二ヶ月上旬、

時間の問題

陸軍首腦部會議

中將を中心に

關東軍、支那駐屯軍の擴强

尚兩三回續議せん

中の今井田朝鮮總督府政務總 日正午官邸に議會關係で上京 原京陽通 川鳥陸相はせ九 1

川島陸相 後四時過ぎ散會した

る要求を具陳、協議を遂げ、 とり政情を報告し中央に對す が省公署に於て開催、各族長

井上洋水店

對支折衝

磯谷

少將

交八人想定時代日

第参拾

八期决算報告

一昭和

万三十

が 切

资

角

四億の民衆させ

着語る!

見にせよ遊氏個人では滅意を持ち過ぎてるやせぬか意を持ち過ぎてるやせぬかをよく見る必要があらう。をよく見る必要があらう。

(門司園油) 一年半餘北安工 作に大貴献を爲し念談本部附 に英轉した支那駐电軍念談長 海井大佐は扶桑丸で廿九日朝 月早々入京の筈であるが船中 で左の如く語る

| 西井大佐門司

機見たが具體的には深く立入 る事なく一切を將介石氏との 合見に譲り年後零時半會見を をのた、尚有吉大使は卅日午

少時は感々の朝九時上海解鑽

見を変した大使館附武官機谷 ・ おいまでは、大で上海でリースロス氏の訪問を受けて意 今朝上海發歸國

0

カー

奶唉子作

荷假仲現振銀營所

替行藥有科 貯勘什也 5

之金 金 金 11-02-4 11-02-4 11-22-0 11-22

宝

勘

合質情社受假未荷前退路別法費 別 身入 主期手知復紀 科 純太元保受排 標業預積積本 企 觀 企 動越立立立 計金金金金金金宝金金金金金金

行くの

角多型車が楽工、除子を引戻し

たいった時に、其虚 彼女は、膨く性間を見て承てゐるいった時に、其虚 彼女は、膨く性間を見て承てゐる。 だけに、北一になる今までは、髪 なんでものを知らない女だつたの

てたって信ちゃん

席する筈で各方面から重要視 りる氏と會見の結果を中央當 局に欄告し、中央軍部の對支 具體策に闘する頂大會觀に出

子は、言葉をかはすことも出来ず 他の大きな自動車に乗込む時、瞬

なんでものを知らない女だつたの ですが、どうしたのか、個太郎と いふ男にだけは、心から自分の無

「ばか!お前にも飲食はない、遊いつて飲ねてゐたのです。親事は が、お前、あんな人に移れてもは「です」 「旦那。信ちやんはどうしたんで

あ男のために澱を見せてゐたので

前記各項/調査ヲ逐ケ其ノ正確ナルコ 同 支配人 同 支配人

3

海 森 森 森 森 京 市 会 市 会 市 会 市 会 市 会 市

を知つたのです。

るたのか、やつばり数のあること

1、金一千三百數也 一、金七百三十九十八錢也 右之通り候也 一、金七百三十九十八錢也

清田中将安東へ 三十日午前七時羅列車で安東 直察へ出致した

11、金祭年の新倉目の東海県 京

御行り出致左

一高台紀念祭 一高台紀念祭 一高台紀 り左記に依り新京一高台紀 1月一日(土)午後六時 八千代館

間

質的制限討議

■四國の意見一致せず■

ことには絶對に反對すると觀糊逐艦を巡洋艦として取扱ふ

ルへ向ふ客である ルへ向ふ客である ルへ向ふ客である ルへ向ふ客である ルへ向ふ客である ルへ向ふ客である ルへ向ふ客である

川島陸相、杉山参謀次長、古南殿下を始め奉り各参殿官、原文圏如臣室に於て朝香宮、東久圏如臣室に於て朝香宮、東久圏如

だ人つた で記と支部

治

外法權撤

廢後

0

営業稅

全滿商議代表更に陳情せん

ハ日新京に集合

陸軍參議官會議

獨大使ご重要會見

獨伊政治協定案提示か

| 東京関通] 日本商工會議所 の如く決定した

IJ

ーニ首相

日暹經濟親並

使節を特派

スペルビン園通」関東軍長等関係各方面の出辺へ長等関係各方面の出辺へ長等関係各方面の出辺へ長等関係各方面の出辺へ

特從武官 **冷藤少**佐

金玉間也〈當日御持縁の事〉

新京中央通二十三滿鮮運輸合社

五谷所

申會場日

千鳥(當士町二丁目) 二月一日 (土曜日) 午後五時

数御誘合せ

の上御出席被下度顕上候

石川縣人に告ぐ

中央通

その日く

・ 既に酣、なれど政、民の既倒 な候補国出意外に早く政戦 と、別事は笑ひ出して、

無君な往文じやなからうか 使、ル支那との交渉は四億の 関支那駐屯軍金牒長酒井大 つ本紀を関といふ六番町の信仰家だったの人は智典機能を収欠に持 の御覧子だ 「おまへ へ、彼の人を離だと思つて

精洲里に比ぶればまだく のうちに職めてしまべい。たから今

おまへが概を見せる女たとは愚は 「何だ。何を泣いてるる?おまへ 一元末、職家は、明治婚姻におけてる功労者であつて、僧歌といって、 位を職はつたのは東部の先代でも つたで、先代は名を職家事といって 一つたのです。さう云よ家様の正し い車筋を置いである情の微水郎が い車筋を置いである情の微水郎が

目だぞれいまのうちに勝めてしま ちやんは何處へ変れて行かれたん 「あは」との思れてるなかつたら 「技造は、何ですから」 何故ですりあたし、惚れて の表には、もう六十に近い老人で いづれも似水郎にはが欠や叔体に いざれも似水郎にはが欠や叔体に 要素原士の前條度線と、それに實 ・ 其の長見である費用六番前の を中央に置いて、親族会議を開いたるしづ子との、背欧の民味的人 と。其の長兄である難町六番町のいまの観視機能である関系一郎

版大郎の母にあたるべき人の数が、 の大郎の母にあたるべき人の数が、 の大郎の母にあたるべき人の数が、 間取 場所 石川縣人會 原呂、惺房、水便、瓦斯、 原呂、惺房、水便、瓦斯、 株 作完全高級位宅庭廣し 人會事

家賃 七十五調但し三月迄優房費を 御希望の方は

一六六八番

取得入用の節御見積 申上ます

電話長大大四 屋洋行 左 官 材 料

町六 番地

料築拳天棚生物

につき次の如く注意を促して につき職東局保健所では一般 につき職東局保健所では一般

三中等學校

試驗規則發表

水蔓延の光があるが、この窓感目が大連方面にも流行し漸

子供の智脇を寝さぬやう充 をつよくするやうにつとめること、室内は常に十六、 をつよくするやうにつとめること、室内は常に十六、 をつよくするやうにつとめること、室内は常に十六、 をつよくするやうにつとめること、室内は常に十六、

人學者は

△新京中學校入縣人員 百九 △新京商業學校百四十名 (內

集金を拐帶

氏が駐日大使館武官室を訪問哲解及び訓導字和宮郁哉の極質画原導常高等小學校長藤田田の原書高等小學校長藤田田の一月十五日東京市澁谷

とと同情本

として贈呈してくれとの事と醵金し貴國軍級の慰問金日熊浚して全員擧つて欣然同感激して全員擧つて欣然不被職員及び生徒に以上の本校職員及び生徒に以上の本校職員及び生徒に以上の本校職員及び生徒に以上の

で此處に零綱ですが持多致で此處に零綱ですが持多致では、大から私達の意のある。

新京一般個人應要

い小學卒業見宣が可憐な職士を切り繁雪の功を積んだ夢多校とも一齊に入學試験の火養

上級學校志望者 小學校の

は

たところ、このほど新京總領 事から認可されたので近く結 裏から認可されたので近く結 長の指揮を仰ぎ、自衛園とし ての活動を開始することにな つた、今回の結成は全議響祭署 最初の企てであるだけに蔣来

昨日

申出の

軍警慰問袋

目的として懐機縣五字

自転圏を組織すべ

を決心の程を肩守に現はして い、たで警察艦をしては軍 い、たで警察艦をしては軍 の目的を貫徹したいと思ふ の目的を貫徹したいと思ふ

東海樓の小火

討匪警察隊激勵に

東條司令官出馬

第一線に各部隊を指揮せん

• 料病两胚

タドル

をして華々しい艦職ぶりを優 「本年度卒業児童のちち上級學 大農前年度と大豊なく何れ も九十%前後が一飛縄を試み やちとする景氣のよび色ある 各小學校における本年度上級 学校入學希望者のよび色ある を介学がにおける本年度上級 学校入學希望者のよび色ある

W屋菓子店員

として在東京議洲國大使館武官を通じて軍政部大臣に客難し來り部内に感激の嵐を捲車校から校長以下職員生徒一同雰細の金を醸出し匪賊討伐に從事中の滿簾將兵へ慰問今や全國を舉げて滿洲國軍警を慰問せよとの際が潮の如く高まつて來た折柄日本の一

をもつて発表されたが本年度 女母校の本年度新久學者數及 な母校の本年度新久學者數及

目の寒氣で

を機績の筈である

(可認物便蘇爾三第)

番目の窓氣で正に殺人的窓氣が飛柱は零下三十一度三分まで降つた、新京觀測所創設まで降つた、新京觀測所創設 寒さの道連れ 感冒に御用心

東京の小學校は全滅の惨狀

稻野マチエさんはかねて學校第五學年二組 稻野マチエさん 藥專入學

初吉報である 初吉報である の 校

日記を遺

市内常館町三丁目十二番地灣 らぬので家人は驚き新京署保 してゐることが判明した、茂を出たまゝ夜分にいたるも歸 十銭位の金を持つたまゝ家出 てゐる

八青年

続けてゐる日滿電響の實験が を目指して血みどろの闘事を とて十二国の金を寄托して闘

小學校からかにされた

を贈られたことは図い誠意と熟情を込めに適言と熟情を込め

顧問の名を以て同校宛感謝狀を贈る手續をとつた

京は勿論全補各省非常の熟心 を以て募集に努力しつよあり 殊に個人としての趣募者中、 新京城内商會長王荆山氏の一 十個、丁鑑修氏の工百個等々 の如き大量寄贈は、舊軍閥時 代には曾て見る事の出來なか

當局者以外國内に

軍第一線の勝士をして痛く感 は日務融和の礎石はかかる美 はしきエピソートを通じて一 が々々打ち樹てられて行くも

▲五十個 日ノ州町二丁目八 加藤金保氏 加藤金保氏 流帯のであるが 満洲

おに腹ずべく其の筋へ追加器 新京中央郵便局では一般の求 新京中央郵便局では一般の求

餌

望

は

國以來最初の企てとて國都新國側は自國の事ではあり、建

につき希望者は至急無口で購 すること」なつたが疑部少数 で

13

不過

●廣告

0

た慰問金も

徳縣五家子に

金最初の鮮農自衛團

足一致の親義的明朗情景で

現場に於て馴査中で詳細尚判 関しないが機關車の承無事通 当せる點より見て地盤の凍結 により機關車の軍味で線路盛 により機関車の軍味で線路盛 により機関車の軍場の凍結 なかつたが損害は相常互額に 上るものと見られる 第二人四號貨物列車の脱線與第二人四號貨物列車の脱線與第二人四號貨物列車は何を れも直通運轉不能に陥り旅客 で徒歩連絡を取りついあるが

本夕までに復售

春季競馬第

信

男女川の

横綱授與式

御料理

卅一日舉行

出場新馬七十五頭

來月二日早々

一般抽籤施行

元木學務課長 打合せに* 1

黎町二丁目三の新宿舎に移轉

一ノ二の宿舍から美山形の西氏は錦町

京の機定である

昨年度會務會計議告、會規形總會業に新年宴會を開いた。

學校 事材

東で来京ヤマトホテルに投宿 のため補鍵學務課長売木章氏 は三十日午前八時五十分着列 は三十日午前八時五十分着列 近藤經理課長

新京出張所の出張負岩月、大鵬東軍司令部内にある拓務省 (情につき一場の講話をなすこと」なった。 としなった。 としなった。

一兩日滯在の豫定

宿舍移轉す 拓務省出張員

便局に於て順員の

(限別を選信局近藤經理課長は三年)

大一日午後六時半から中央郵

十一日午後六時半から中央郵 中央局で講演

兼新年宴會を催したが會長松 午後六時から料亭壬島で總會 一氏の庶務會計の報告があり

南三日滯在の上醫 福岡縣人會では記念公會堂で お扇との事務上の 福岡縣人 含終る 離盟主事田中健茂 麝奢智十類名居曹太二 大瀬盟主事田中健茂 麝奢智十類名居曹太二 大瀬盟主事田中健茂 麝奢智十類名居曹太二 大

新菜領事館響祭署扶除分署長 新菜領事館響、保安保勤務を命 要署に勝署、保安保勤務を命 長野縣人會服ふ 在新京長野縣人會によ 高橋警部補歸署 った 適の施援あつて 正、會長選舉等に あ

す(州一日)

▲七·00ラデオ・ドラマ「深川女房」(東京)▲七・四五 一新京記念公會掌より中繼 でルトラメリー能子

五時二十分同地肥念碑前 五時二十分同地肥念樹體祭 午前

今晩の主なる演藝放送。

等の業學の 業學校 部 校

三古

六七

六六 語来もこ人人しふ御座尼ュー 有じます 名を改め、今後の御期待を一つに集めて 名を改め、今後の御期待を一つに集めて 名を改め、今後の御期待を一つに集めて 名を改め、今後の御期待を一つに集めて をとより御客様の御指導を金料玉條と奉じ、氣の置 では、 では、 では、 では、 をは、 をは、 の御満足を頂き度存じて居ります をより御客様の御指導を金料玉條と奉じ、氣の置 ではい『玉川』の長所に『嬉野』の感業を御支援下さいました御 はない『玉川』の長所に『嬉野』の感業を御支援下さいました御 なて大して御願申上る次第で御座います をこたして御願申上る次第で御座います

新京東一

條通十四番地

関節(三)三〇九五番

(東京側通) 男女川の横綱俊 一時より小石川の細川家で行 一時より小石川の細川家で行

賃備取所

記念繪葉書

追加の分到着

溫水煖房、水洗式便所 錦町三丁目七番地(數地八十年牌五港平像) (洋間)八學、三三學 日本間八極、六極、六極

東亞與業株式會社新京出張所新京特別市新發屯清和街一〇一號

電話三、三三〇〇番へ0

御用命は一

大七 等位 引

判 K 1000年

辯護士師

三士目午後一時十分市内三签 町三丁目二十五番地朝鮮料理 町三丁目二十五番地朝鮮料理 門一間を熄いて鎖火した、損間一間を熄いて鎖火した、損 有名食料品店薬店ラリ





貨物列車顕覆

展範囲に買り、星軍の今後に 一 無非特別鮮濃人は左の加く遠 本事件はその開係する所 で「本事件はその開係する所 相澤中佐 第回

滿井特別辯護人歎願書朝讀 高の存する所を察せられたい 道の歌願書が来てゐる。御金 が表する所を察せられたい

「本漢湖網通」東邊道一間に を協力、之等距賦の徹底的模 を協力、之等距賦の徹底的模 を協力、之等距賦の徹底的模 を協力、之等距配の徹底的模 を関する。

られる料への情報の各部員は前線各門 合官の如きは司令

財するのみ 東條司令官談 各部隊の一奏行動開始と共に 本漢湖の整備警察縣司令部は 科病柳花 • 敏一科外

△八百俊 福禄社員會

△二百卿 三笠町一丁目「た

本書解析記写集一問

全一職 花園町第五小學校
生徒佐藤亘氏

生徒佐藤亘氏

三一三九三四五一人五

祖民刑一般法律事務 辯護士 通八十三地派

御會葬 御禮 羽 H 地利 特作品再映

映

横が乗る二月三日より二日に亘つて記念公會堂においた直つて記念公會堂におい行はれることに決定したが行はれることに決定したが行はれることに決定したが行はれることに決定したが特々、泰強家小太郎等の機等を加へて男女優三十名の一座で東京少女歌劇にである。

念

會

寛眞替り 場 劇場

素関場三十一日よりの番組

新春を飾る笑の大豪華近日 來 演

將濱

潮

ず大變中 験 既一人更のの報

日開店起業普請造作吉

たか。聞いたか。 尋ねたか 効果こ鍼の威力

三日間 常劇團 "

では表面化しないが所謂國務 を争奪は五社協定により
の問にあつてどう動くか話 を争奪は五社協定により
の問にあってどう動くか話

鬼閉友壬金宿引子曜

邦畵界 の製作陣

すか見物である すか見物である

安する喜劇文福茶签一行の全 新進喜劇界の互勝濱路湖の主

一行來演

二月三日より

一月の特

等は、 ・ は、 、 は、

●二黒人の 緊張を欠けば音 外の點より破綻を生ずべし 乙と丁と壬が吉

0



豪るす 京 訪 進

陣華豪の表發回一第作新度年六三九一

義經よ何處へ行く二景 リム彌次喜多道中記 一寸法師世界漫遊 A景



堂會公念記》



間日三。1日一十三月

合組店食飲京新雕

本歌劇界の最高峰!!

一座五十餘

名

新京取引所市队

自動車の

職長と北へ進んで行く程小型のもの多く其は初め南より設めるの多く其は初め南より設定し、租富登遠の城に達するのれ。 一百臺で溝み、人件費も節約 を得るといふ關係上、發達に で加速大型が採用され行く が傾向を辿つてるる。

に於け

大学院の日本の主義といるもの流 をの日本ツトみたいなのが三 大会の日本ツトみたいなのが三 大会を見て養質を決するのだ 大会を見て養質を決するのだ 大力ンを喰つてあるとか 大の行 でも 大の行 でき 大の行 でき 大の行 でき 大の行

島

營業開

交通税整理方針 一次通税整理方針 一次通税整理方針 一次通税整理については過酸來財政部園 理については過酸來財政部園 理については過酸來財政部園 を待つて近く願え實現を必定し氏報の無理の力針を決定し既報の抽租改正 に先立ち源田稅務司長の瞬京 を待つて近く願え實現を見る を移るので感よ民情に適したが を移るので感よ民情に適した第 をあるので感よ民情に適した第

草の並で

各地株式事市况

央試驗場成

功

於て之を報告したが專覧局は 新年度より慶敬として毎年業 として本格的の製紙事業に乗 として本格的の製紙事業に乗

方面の擴張と關聯して 三月末總額六百二十五 三月末總額六百二十五 を以つて借入金の返濟 るに引總ぎ來る八月末 のき期日を同うして第

畫

3.

側、頭取は下條幸太郎氏、 側、頭取は下條幸太郎氏、 側、頭取は下條幸太郎氏、 側

付什篇即位 三人

前年同期を一十

階級の生活水準も昨年に比べ 能程改善好調をみつ」あり建 関以来足力確に帰進し更生の 態線顯著なるまのあり独正明 けの離人側市況は活況を呈す されるとのありを はで記を呈す

二月甘前場 一月甘前場 場

▲上海為替 日本前 相

22

の水 Pin が かった の かった の 立立

一大阪棉 米

H1.03



30

世七日まり

水/五型子・助薬 学業の海・田黄 の水/五型子・助薬

劇 喜 作 特トン ウマラバズルー イフ・ロ・Wーキート・ルーオ・作特超茂加下 吉浩田鹿・鰺太好東坂・郎二長林

200

示劇場

三十日封

間切

ちぼか

の組め

(版本日)作特トンウマラバ 樂音 2 ルトスピ

トオ 唱合の人萬百 ^{映章}

鬼

版キペマ

五十錢

十日 話情渡佐新 封

時 雨



御希望の方は電三ノ三九三七 間場 數所 水道、瓦斯、湯酸の設備あり八疊、六疊の二間 極日當良き 十九番地米田迄





込金 自由 世帶道具 0) 加 藤

四十八國 但し三月迄、 電話ニーニ 六六八 電熱 器等の設 主 で 茶道具と陶器類 A 陶器店

御希望の方は

一部家主負数

昨年六月就工 (外交部新總合前)

大日本解雀聯盟滿洲本部 Rクラ



2 日本 3 2 日本 50 50 量数 200 1.57

は朝日の 品品 康 粧 **新**京東二條通 「支店新設」與安大 日の 大路四二三者

西順の第二次擴張計畫を下四日在京軍役會にて在京軍役會にて在京軍役會にて在

場

海外經濟電報

古一

助かん (我) 一日 (我) 是一日 (我) 節和 你二回 質質質型 二二 二

四夏 二志子 八分 四夏 二志子 八分 四夏 二志子 八分 四分 二六郎 四分 一

產 市况

出張撮影*** 電氣寫眞 趣じます

愛

圓

Bi

卅日より二日間 貸

着人 花外內 柳 病 科科科 を構田 人 江 内 八 江 内 八 江 中 1 日 日 1 日 肛產小 門婦 見 科科

新京羽衣町二丁目 1915年、 松事場、 浴盤各室、 炊事場、 浴の水に應ず

NEWS

時別市道路占用規程はさきに 自治委員會の護決を標で、本 自治委員會の護決を標で、本 同規程によるを道路を適用せ 心とする者は市長の静可又は な離を受け左記占用耕を徴取 されるものでこれか違つた者 されるものでこれか違つた者

のを含

道路の

合は最ほう

eのど見做すことにない変更地域内の道路は 変更地域内の道路は

を 事共同施設助な を を を を を を を を を を り 三十

本本

本前掲以外のよう。 日本語の 日本語 日本語の 日本語の 日本語の 日本語の 日本語の 日本語の 日本語 日本語の 日本語の 日本語の 日本語の 日本語の 日本語の 日本語の 日本語の 日本語の 日本語 日本語 日本語 日本

もの一平方米に

めい

東東
第一條
東部大臣は長事本
「原施設助成の目的を以て縣
西賀用に充富せしむる国本
「原施設助成の目的を以て縣
「原施設助成の目的を以て縣
「原施設助成の目的を以て縣
「原施設助成の目的を以て縣
「原施設」
「原

田文治氏(駐吉第二数源組 一大学語(満洲憲兵副司令 学額氏(満洲憲兵副司令 学額氏(満洲憲兵副司令 一大後第公主領より

の利益で

農東

争共同施設

助成規則けふ公布

・ はずり ・ は付年額 100 1740

であるから磯谷少将の路朝をたるものと期待され成行を重なるのと期待され成行を重がされてある。
おはされてある。
おはされてある。
おはされてある。
おはされてある。
おはされてある。
対して軍の野支方で重が大長は右會調終
すと共に中央の意向を齎し二

対く管である

者に於て銳意編纂を急いでゐ 手した、数科書種類は七十五 種全册數百五十萬部で內容は 東洋平和、人類愛を基調とし たるご月から使用される筈で ある

蒙盆々

宛ら満洲

國を假想

忠敵國視

次長滿支視察

(B

り依頼された同地方小學兒童 | の後東亜文化率天演通】 盛に翼東政府よ | 使用の数科

翼東政府から依賴の

教科書編纂終る

三月の新學期か

ら使用

* FRENE

外震政府の壓迫に堪えかねて製職にあつた某支那人が最近要職にあつた某支那人が最近

を假想敵國親してゐるを假想敵國親してゐる

候補者

使用の教科書編纂に就てはそ

道

路使用者か

占用料

を徴收

特別市で新規程を公布さる

對支方策に

月出 【頁二十刊夕朝紙本】

料度定水金售信机 特書郵一 致行

7

量品版公

印編聚 副報行

満から權威者

一支の顧問に推薦

工肥原少將が最高顧問

に闘する説明、花谷参謀よりとは、織いて午後一時から綾明、吉岡参謀より「教育方針」

治安工作並に

課稅權問題

南日をもつてい

問題があるた ムなり三十一日

【奉天國通】滿洲而工會源所 静合會では、第二十七同聯合 育の決議に基き三十日石田會 長の名を以て滿洲に於ける水

實行方建議 系出力資源

元 立

日本ア

巨

來る二月顧問部設

既報、冀察政務委員會は日本政府に對し正式に日本人顧問に就任すること」なつた(竇は土肥原少路)

前新会元前 大衆黨 三三 豫想外に 而各派 甚

水豆の實施 油房に奬勵金

日間に互り水豆問題の實情調 る二十五日瞬宜し目下其調査 に基言對策を研究中であるが、以上の實情に鑑み満洲優政府 に基言對策を研究中であるが、以上の實情に鑑み満洲優政府 に基言對策を研究中であるが、以上の實情に鑑み満洲優政府 に表言對策を研究中であるが、以上の實情に鑑み満洲優政府 がる地質は由積の状況にあいた。 がる地質は由積の状況にあいたがで、大部分の農民は獨正月前 で、大部分の農民は獨正月前 で、大部分の農民は獨正月前 で、大部分の農民は獨正月前 で、大部分の農民は獨正月前 で、大部分の農民は獨正月前 で、大部分の農民は獨正月前 手持の水豆を處理する以外に 野間して節期を過ごしてる。 ある。

と明儿又 にチェハル関連)ソ聯政府常 は二月早々開校、東西シベリ は二月早々開校、東西シベリ は二月早々開校、東西シベリ 七官學校 クック

は、大刀打ちして勝算はある。 は、大刀打ちして勝算はある。 は、大刀打ちして勝算はある。 は、大刀打ちして勝算はある。 は、大刀打ちして勝算はある。 は、大刀打ちして勝算はある。 は、大刀打ちして勝算はある。 は、大刀打ちして勝算はある。

人同林業改組

滿洲林業公司設立

一資本金五百萬圓に增資

【率天風通】 満州林業統制會 社たる大阿林華會社は築務擴 大に備へて日満合辦の満州林 大に備へて日満合辦の満別林 大に備へて日満合辦の満別林 大に備へて日満合辦の満別林 するに決定し準備を進めてゐ る。 田野割富は満洲図政府二 看五十萬圓を満頭、東拓、王 手製紙等日本側二百五十萬圓 本社代表)三十日發來京ヤ 本社代表)三十日發來京ヤ 本社代表)三十日發來京ヤ

長)三十日午後來京都ホテ洲忽布麥酒 株式 會社 技師糾忽布麥酒 株式 會社 技師マトホテル

技術正確

新京附屬地内における各種營業者の同業組合數人員等を新業者の同業組合數人員等を新業者の同業組合的人程合の一十百四十名、次が飲食店組合の一百一名、使用人その他關係者の最も多いのは矢張り飲食店組合の一千七百九十六名。 大は満人料理店組合の一千七百九十六名。

同業組合調べ

氏 (補別國官吏) 飼

尚満人ニハ通譚ヲ要セメ

前 稱 洲 測 量 部 屬 新

業法二依 N

責任出願 新京八島通四四 電話長三一六四四七 正規製圖並出願手機





般和石石山山量 及鑑分調測 製 圖定折查量

技術主任 川 潤 侍 郎 前 敬 辞 總 督 府 抉 新 前 敬 群 總 督 府 抉 新

原動力を爲す電力問題の酬査

學校費等分 負擔主張 木課長出席

全滿領事會議第二日

息見交

局留地二の按分比率で負擔 居留地二の按分比率で負擔す

め延期すること ぶまれるので消鏡では從前の幾算不足によって實現を

第二條 助成金の交付を受けんとする縣は申請書に左の書類を添附し省長を經由毎年二月末日迄に實業部大臣年出月末日迄に實業部大臣に提出すべし特別の事由ありた認むるときは期間報過。

するは

公布の日より之を施行 期

諸問題につき協議をなす

表の他の諸機関の大同團結的 を他の諸機関の大同團結的 を他の諸機関の大同團結的 を経済調査機関の聯合會を超 を経済に関する分野では繋 合連絡機関をしての素績を擧 がで來たやらに考へられる。 今日の場合に於いては、新京 に在る議洲事情案内所等が中 心となり、各方面の支那、満

合社の設計では、

いが故に全日隣の、悉くの書類底その大成を期するを得ながって、の機構を以てしては

るを得

の談話、論調とて

東、南、北の三方面より壓迫の線にあり費州の中央軍(前記)は頻遠に、徐源泉軍は四別省の秀山、四陽に集中して、徐源泉軍は四別省の秀山、四陽に集中して、東、南、北の三方師)は頻遠に、徐源泉軍は四別省の秀山、四陽にあり費州の中央軍(前記)は頻遠に、徐源泉軍は四川省の秀山、四陽に東中に、

社

說

南

9

3

蕭兩共產軍

0

かずー寸頭縮鉢卷の量が 禁制品金持が寄附行為で何も がずー寸頭縮鉢卷の量が

※卷の最中 27 である 27

)
崩別属巡査の立合

日中大通での立小便

撃に策應して貴陽(貴州省城) 軍の目的は徐向前軍の成都政 の情報に依れば賀、蕭兩共産

大山岳部 マラヤ山脈

勝に向ひ同縣下の洞口、高沙 以來南下し、廣西省境の武岡 以來南下し、廣西省境の武岡 以來南下し、廣西省境の武岡

均襲 十二月廿九日貴州省へ経寧より北轉して靖縣 が討伐軍は之に對 を攻撃せんとの計畫を有し其の實行時期は大體二月中旬頃と見られてゐる、又一説に依れば同軍は貴州省に停滯せず尚西行して雲南省北部を掠めに入り更に北上して朱徳、徐に入り更に北上して朱徳、徐

政

△図

質 軍 軍 死 軍 士士官 兵官

滿軍過去一ヶ年

支那四億の民を目標

上交渉を中止するの已むなき が先方の都合で体溜する以上 が先方の都合で体溜する以上 付は延長せしむべきものとし すれば長せしむべきものとし (東京國通) 廿八日天城埃及 によればワフド業獨立運動を として不安狀態を續け、國王 として不安狀態を續け、國王 として不安狀態を續け、國王 として不安狀態を續け、國王 たくワフド業單獨內閣で行く ものか、超政黨中間的内閣で 行くものか皆自分明せず、從 つて日埃會商は交渉の相手方 を失つたのと同様の運命にあ を失つたのと同様の運命にあ を失つたのと同様の運命にあ を失つたのと同様の運命にあ を失ったの事であり、倉商 に至づたとの事であり、倉商

【東京國通】上海事變の勇將 として知られる海軍少將積松 第三區から總選事に打つて出 動を護はれた事は未だに國民 の品憶に新たなところで、今 は退役の身となつた、將軍は當時陸 の日を送りつへ鄭薫人士の親 変を集めてゐるが、今回签に 福島縣で立候補 惟松少將 前後六時間に亘り協調の結果價對策委員會は廿九日午後開價對策委員會は廿九日午後開 人絹布價對策 決定せず



各社の主張は尖鋭對立してみ脅を開く事になつた、而して ムピッ 當の時日を要す

徹底させる

選舉粛正を

術競技會 側から百 GD GD

光行 検事 總長は は東京関通』未曾有の大司 を乗想される總漢事の取 知く語つた

日

も何

のその

打合せやら、大意である(宮饌は政友資本部、左長野幹事長、右島田騰務)を旬日楼に整へて大多忙の政業本部では廿六日の日曜日も幹部一同總出動で連

大多忙の政黨本部

のものになると、 を着板に掲げて開始を着板に掲げて開始 を見ない程の になると機想する が違反性数は権制外 が違反性数は権制外 が違反性数は権制外

各地市况 (14年)

東二通條 BIII-E OIIE

相場

告廣加增輛車及設增庫車

鏡の二周勘定となつて市内より求めるより

は五側方廉い料金で行ける譯で如

鐵西麓馬場附近となれば七十

質に區間制に依る料金の差を見出すことが出來るのであります先づ需要家は

ーを利用する程練濟的な乗り方はないのであると共に時

クタ安興るす躍飛

敏

親

家廣告の

K 巧 生妙

衛手した、数日にして大闘 孫警察署が悪家主表の作成

頭痛の解消

付で新京紳士を気息 のより悪家主さんの で不等所得王神士を 居る方が少く罪が電 居る方が少く罪が電

と終深を悠 で吸り取り で乗取つて で乗取つて

●新京で見善いものは (一)瞬前より見た大局大 (三)日本兵騎の整列 (三)日本兵騎の整列 (三)所ず押付專選 (二)物質「ニーヤ」の総舌 (二)物質「ニーヤ」の総舌 (二)可貸店娘の無性面 (二)可貸店娘の無性面 (二)可貸店娘の無性面 (二)可貸店娘の無性面

しには至つて困て居る、職進元、兼呼出役の署、職進元、兼呼出役の署

無事署長

征服を計畫

して決行する事となつた世界山岳界の計置を備て窓々比の夏の計置を備て窓々比の夏の計置を備て窓々比の夏 毎日前の貸家廣告に價額と住 るに一度家賃問題が世野に上 るや近日の廣告は場所間取電 話番號と單化して来た

を期して を期しま

六 六人 寫し早速夕刊に顔晒さ

二六、 六五 四九三四五 一九七三二五三四 三一七九五五九四 日本輸出

たのでは

技働に出品するためであたが

ンに開催される

大ので内地輸出高 を呈してゐたが最近滿洲國内 を呈してゐたが最近滿洲國內 方一次 大ので内地輸送は不順滑とな たので内地輸送は不順滑とな たので内地輸送は不順滑とな たので内地輸送は不順滑とな 地に初輸送することとし無順 機に初輸送することとし無順 現在十一ケ國に確守を準備された。

政情不安心 日埃會商依然停滯 國 解令

島金治郎

· 藤 藤 藤 崇 宗 宗 宗 宗 宗 宗 。 完 島 140.10

式(短期) 式(短期)

株式明花規模

タクシーの

利用法に就て

弊店は今迄餘り糠底されてゐない展間制に依る料金の經濟的な乗り

方に就て

昨年改正された属間制に

た興安大路、

長慶街社宅へ行けば三値となるから ば一圓二十銭の勘定となつて三十銭

元壽路内に抱含される一區域を

故に一例を奉ぐ

れば鄭店を中心と

、平榮大

54、50

42

≓

名に精通したものを選ぶと共に車輌は最新の洗練型と低廉な料金で交通機関 御承知の如く際店は新設屯の新設市街へ營業所を有し然も運輸手は満洲陽町

のが解店の使命であり且つ率仕であるので御座います

回の慶告で徹底されたら幸甚これに過ぎざるものはないのであります

弊店は特殊地域の料金割を徹慶して區域制とした鄭店獨自の格安料金は一般

知られてゐない御客様へ今

OTOOTE AT

新 ·京

興安

大路

+

六

番

位

タクシ

電話(二五〇八四 OA

護路時下嚴寒の折柄江湖各位には愈々御清榮の慶慶復の至に存じ候 の至に存じ候 の至に存じ候 の至に存じ候 の至に存じ候 の至に存じ候 の至に存じ候 の一葉を相極め居候、現在は開業當時の無數では到底充分なる機能を發揮することを得ず一般需要家へ甚だ御子と共に車輛も開業當時の三倍に増加致候、これで新述なる足として充分便利を與へることを確信仕候 を立る足として充分便利を與へることを確信仕候 を立る足として充分便利を與へることを確信仕候 を配し居候得ば江湖各位へ充分御滿足して載ける ものと自負仕候尚サービス、安全其の他に就ても哲に ものと自負仕を尚ず、く申候得ば此儀御含みの上朔愛乗場 り度く伏而御嶽申上候

0

名古屋

自由移民の形を以て頼々と侵住の地を離池の満洲國に求め作に從事してゐた酢農鍋が安保されたに伴ひ切鮮に於て小

を持み而も有利なる物味りて頑張に抵抗した 藤りて頑張に抵抗した

中軍軽偏一名を出だせり中軍軽偏一名を出だせり相当四名及寒惣情自衛脚と大打撃を急襲したるも敵にを動いて蟠尉に近抗したる極限に至れるも敵は多勢にでの如き大打撃を破に左の如き大打撃をでは少となり顔るが、他少となり顔るが、大打撃をである。

年に入つてからも彼棒群農

一手販売元より進星各様七宝験報告集

一手饭餐元

友田合

根 替口 施・東京・一九

三七七四四人九七

造 元

Ξ

共

株

定 會

社

新京三笠町一ノ十四

東(の)四九〇二新興社

察署には少くとも一乃至二、 く殊に直接住民と折觸する整 く殊に直接住民と折觸する整 機出し列車利用者に多大の不 系管更の寡少或は絶無の酷多 機出し列車利用者に多大の不

地方警察の明朗充質を期す

延着して午後一時頃到着した車も機關車不良のため七時間車の整備車不良のため七時間車の整備車不良のため七時間

京濱線各驛に

明朗充質が遂げら

吉林總領事館管内の

鮮農急激に増加

昨年度に比して戸敷約二倍

目指して陸續入滿

る筈で此の點より地方警察の

常置監理員を増派

列車の事故防止に萬全を期す

り機闘士二十七名、

火夫四十名

共産主義の注入

に骨醒的氣運漲り遂に

能江省各縣に

日には市内に何者かに依つて便をかけてゐるが路に二十八

を感謝

鐵道事故の責任を糺弾せよし

日系警官を増派

とのビラが貼られるに至つた で一般な問題では之が改善に不服 で、作の努力を規つて居るが此 の努力を見目に二十八日午前 でで作十二時漸く到着し又 二十九日も同列車は於十七時間延着 して夜中十二時漸く到着し又

日加馨憲兵中佐の肝人りで結 が はされた間島本住朝鮮人を以 国 成された間島在住朝鮮人を以 国 佐人日の八割を占めそれ等の 中には日韓併合當時不平を抱 いて入間し、不逞の計を続ら かったい、それに加へて萬東北軍 本 ない、それに加へて萬東北軍 本 ない、それに加へて高東北軍 本 ない、それに加へて高東北軍 本 ない、それに加へて高東北東 は ない。 有する迫害地主の封建的繰取禍政権の多分の民族的偏見を 更に直接境を接するソ を抱いてゐた者の中にも**次第** に情勢は變化し、誤れる思想

れる同胞の迷夢を醒せ! 協助會の結成を見、在間朝鮮と言ふスローガンの下に間島 摘發誘致、陽順後の共産分子の人の思想的矯正と不逞分子の 班。班を設け夫々實任者を置 に區會を置き更に其の下に 川、李樹溝、原水泉子の各地 満、汪高に支那を置き八道溝同倉は本部を延吉に置き明月 の職業指導と思想統制 、三道溝、大荒溝、大荒溝、大 てるる

王 間島協助會の 木材潭撒場所。

鐵道沿線

亜細亜民族の大国圏結 偏狭なる民族観念を提

東京帝國大學教授

F 101

金融海湖町二八十六

公債債券買人

恩給

藥學博士

下山順一郎氏/創製高橋順太郎氏/協力

電話商舎、電(3)六七〇〇電話商舎、電(3)一七七八条電(3)一七七八条

入船町 ノルスダイヤ青棚祭 本電話店

電話さ金融

本工

我等自らの自療を散

間島協助會は

れを酸表し

宣

現下東亜に於る諸外國の政策は極度に尖銳化し直ちに東亜民族は充る、一大脅威となて共同なる解禁の基礎と言る、からざるな配とをで、然れば吾等は諸族協力す。然れば吾等は諸族協力す。然れば吾等は諸族協力なる解禁の基礎を固めなる民族の堅實なる解禁の表礎を関めて、東亜諸族の政策をの下に偏狭なる民族の理論を記述する。 現準し外來的非現實的なる民族國係を要流して、東亜諸族協力となる。 現本を認識せざる、からず、然れば吾等は諸族協力を表際でに優狭なる民族関係を表現となる。 となる繁榮の基礎を固め知るとなる。 となる繁榮の基礎を関める。 となる繁榮の基礎を関める。 となる、 となる。 となる、 となる。 となる、 となる。 に次の如き宣言綱領を定め 組織は前述の如く 各單位はそれぞれ次の如きする中央集権的組織であつ 職は前述の如く會員を單位、一般の共産主義の撲滅を加、一般的共産主義の撲滅を加、一般の対象を関する。

で、 国會長は區内異色細胞の で、 文部長は縣内民衆の思想 で、 本部は月二回宛各支部區 一、本部は月二回宛各支部區 音食を巡視し會員統制状況を 指示し檢閱す 古すったる状況を選長に担りたる状況を選長 人側に進出

で日語夜學に通ふものがあり り、近頃では視野を邦人側に 増けて煩りに誘致策に熟中し 店の主人から小店員に至るま 客の獲得に全力を注いで居る學習するなぞ相競ぶて邦人顕 三年來の水害、冷害、匪禍等 叉大商店にて 用し日人講師を聘 れて現狀維持に汲々たるのな知れの新設やらに脅やかながら醒め同業者の観出や宮 て現狀維持に汲々たるの有人商店は事態當時の榮華の人商店は事態當時の榮華の人商店は事態當時の榮華の人商店は事態當時の榮華の 師を聘して日語を それにも増して

會事務所 人居留民

五日落成式 街春風

郷軍大會で 九師 團

に就くとの決議を提出した 地に就くとの決議を提出した 地に就くとの決議を提出した が當日の大會に分會は軍縮會 が當日の大會に分會は軍縮會 が當日の大會に分會は軍縮會 が當日の大會に分會は軍縮會 て所内會議室を式場とし盛大トレ午前十一時より市內及びトレ午前十一時より市內及び 事務所を新築した岡們鮮人居 何もと岡門領事分館構内に【岡門園通】當地勢市街春 占好胜蠢動 落成式が舉行

ゴー

二道河子、老松嶺附近に出補蟣森林鐡道林場や圖佳沿 道河子奥地の密林中に蟠居す(岡們國通)延吉縣春陽郷三 掠奪を恣にしてゐたが今期のして木材人夫等を脅迫し金品 る 匪賊占好部隊は小梨樹裔の 皇軍の大討伐に週ひ汪清縣春 關係筋で警戒

られず關係各賽備機關では互る、之等の興酸は當地方面のも、之等の興酸は當地方面のあ、之等の興酸は當地方面のおってが明明を表現である。 忠義軍匪團を

は 監督に常らしめ事故防止に萬 監督に常らしめ事故防止に萬 監督に常らしめ事故防止に萬 に対し對策考究中のところ、 に対し對策考究中のところ、 に対し対策考究中のところ、

哈鐵管内の

糸路人の郷験者中よ

ることとなった

列車運轉 にカルビン関語 最近哈銭管 旬の一市四縣内の鮮農は四、 相に於ける管線領事館管内吉

九〇五戸、一五、一二人にて之れを昭和五年末當時の

二人に比

機関の機動員による大船清工九、七一八人の多数に達して
あるが、之は日鞴軍警並に各

八十名蟠居し、寒惣嶺上通行人より 物品の掠奪を 取行する一方 三道荒 奥地に蟠居する各距園を糾合し四道荒岡軍

症狀を去り、

豫防の目的を達す。

郷の下に同い下に同いている。

着し品切れの時は直接販質元へ駐文あれ各地の棚店及びデバート棚品部にあり

7-7-1 (a 975) Rot: 2 saucts' times 4 day

男女を問はず

自强合本部(平井)

・七圓五〇 他に百瓦、五百瓦入あり

本合へ

すれば一、七九四戸、

豫防用として 其の成分は主としてメチーレン、グアヤコ印なる榮養劑とは、全然その本質を異にしてアゴールは、かの一時的流行藥、或は 侵秀なる效力は益々際價を高め、各大學病成り、結核の治療、及び譲防に對し、其の 院を始め著名醫院に於て愛用せらる。 むれば極めて適當にて、よく不安の期の疑ひある患者に、之を服用せし期の疑びある患者に、之を服用せし 増加し、盗汗と微熱を去り、喀痰の胃腸を整調し、食慾を進め、體重を に向はしむ。 の量を減少し、 量を輕減し、喀痰中の結核菌の出現 療用として ル及びメチーレン、ヂクレオゾ 患者に之を連續服用せしむれば、

漸次病症を輕快治癒 ルより

9 力 支 カ 核結腸·核結 性

答加

痢下性酵酸常異

殺菌效力を有し

から食慾

所合せ 最話(3)三〇人

邦文 なるピスト書成

は収つぎ

胃腸障害を除去す

結核菌に對し最

B

强性なる

核結 腹

二足立商店電(二)五七四四へし御希望の方は梅ケ枝町三ノし御希望の方は梅ケ枝町三ノ製造店都合に依り至急驟り度銀火上」。藤栗中の「おこし」

新京中本マ前一下 御用産業 有板 電話ニーニへニへる は

カネタバン店

電話車門 公益 吐電話簿名義其7億仲介謝絕 新京百貨店二階

電話3六九五八番 御宿泊並に高等下宿

日本橋通入〇ノ三(新京樂園園) (電話3三00七番

を 学野さんば聞三十五九四七 学野さんば聞三十五九四七 学野さんば聞三十五九四七 年人 ボーイ 募集年齢 中四、五才目轉 中四、五才目轉

特別廣告。

育陽に下

東語(3)四七九六巻へ を語(3)四七九六巻へ を語(3)四七九六巻へ を語(3)四七九六巻へ を語(3)四七九六巻へ が、ス至便四件、六条 ※田〇麻僧俱樂部 が、本種四件、六条 が、本種の本人を談 フェュ本人来談

朝鮮銀行機 新京鍼灸治療院 新京鍼灸治療院

川海島 街女子?"

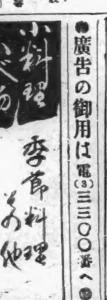
中央通一五<将来號>內 京一の底魚

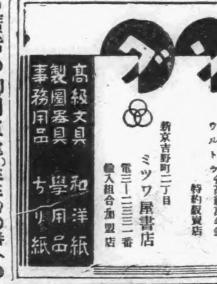
粉京入舟町二丁目九番地 出張所へルピン 一面梅二〇、二九

融金產動不

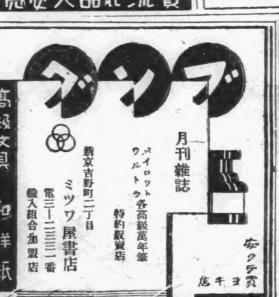
后〇五五六(8) 証電







二四二五

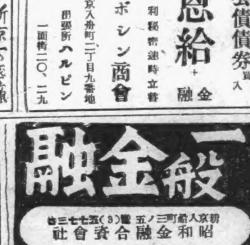


8









は、さいで行はれてゐるとしてこの平行はれてゐるとしてこの平行状態の破れた時に眼精疲勞(頭と眼が疲れなります。今れ、正常で無かつた場合を考へて見ませら。即ち近親とか遠で見ませら。即ち近親とと言った場合には此の平行が破れますので眼が疲れるのであります。世間で强い眼鏡を掛けると度が進むと言つて怖ろしがる事の進むと言つて怖ろしがる事の進むと言って怖ろしがる事の

2

梅原秀夫さん

0

木将軍三渡守

「樂氏土衛美中富文勇無張炭情安健人田治川原原助柳キ矢優信川ル氏錢脇 ・井、井門代島田、▲名藤鑛七田二、中、西乗嗣、田1フテ、▲名藤鑛七田二、中、西乗嗣、田1フテ、本の原田本 は林西碣、千正英荻五氏融會、銀、花末藤楠安泰丸モ、ミ、、一ル十県 「美村太吉、男文集十三本社」、文佐田男村松、高モ神子谷里公、銭一代一 「光郎坂橋、郎常銭十五、居、藤汤、陽、孫澀松ョ尾、汀八、川宗孝、峰

分東京より

車色3予見ケ=行ク間離カサカラ おとイラ居テクレナイカナア。

(1) 今日ハ子供ラツレテ遊び山ト マレトコロダ、ソレハノイヤー 大前ドコノ子供かヨソル明から 預カック

大切な一人息子と収替へたと関と云ふ御金を踏つた作士は

近い温泉へ来られたが、

1897

ダガヤク シテドサ 13.

、三〇日本騎奏

三〇 日本講義 (本天) 日本商工業及産業之大概 率天市練商會秘書 片山 満城

(レコード)

(日)

製によつて水晶體の厚さを加 減する力即ち調節力とが何時 も平行状態にあるものであつ て、この二つの平行運動は想

「すわイテ展テクレマゼカ」」 手椅物チャケーハイハイコー

ヒヤア大変ダリオカラ

日という時間 の二月三十一日が始めでした。 の二月三十一日が始めでした。 でした。 本翌明治七年の明治七年の明治七年の明治三十一日に女子従業員の紙幣寮、後の印 原軍大下に元師の明日は大 を賜はつてをります。 を明治三十九年のこの日 野津陸軍大將と、伊東 下西暦一バートの最近 年が理智院長に任命されました。 本はボイラの大作曲 家シューバートの歌生 生れずれの歌生

るのであります。即ち物の速ん。必ず兩限を視る事が出來ん。必ず兩限を用ひてはじめの限で視るものではありませ

る事は不自然の事に選ひありません、ですから理想を申しません、ですから理想を申しますと、眼鏡には重さがあってはなりません。また折角理想的な位置に損る標では何にもなりなまん。またあまり細くてぐらつく標では眼の筋肉が落付いて仕事が出來ませんので非常に頭を害しますから枠は堅くなければなりません。然し一般に堅い枠は痛く感じます。即ち眼鏡の枠としては

の進行を抑制し且つ視力を保饒の裝用によつて著しく、そがありますカ

枠の種類

おります。眼鏡を掛けても 者が、正確な眼鏡を掛ける事 者が、正確な眼鏡を掛ける事

鏡はレンズより

枠の方が大切ですり

滿鐵醫院眼科

すると、その為に 両眼の 輪奏作用が正常でなくなり、二の作用の平行が破れますので結局同じ結果に到達します。 枠の大切な事はこの設明で到りませう、それなら我々はどんな眼鏡を撰ぶべきでせうか、 や銀はいけません。 型のものを撰ぶなら、

鬼角に食べ過ぎが起り易いれ角の骨、野菜等をな相當攝取しなければなりまればなりまかが、お正月の影響を受けんが、お正月の影響を受けるが、お正月の影響を受けるが、お正月の影響を受けるが、お正月の影響を受け

今日の話題 本太陰曆には三十一日と いふ日がありませんの で、我園で月の三十一 日といふ日は明治六年 の二月三十一日が始め でした。 2

0

番

州 介新M 日京立

(金曜)

○、四〇 建國體操 (務語)
○、四〇 建國體操 (務語)
○、四〇 自天演藝 (哈爾濱)
○、克 帝 徐 殿 福
三、 海叫聲 白 王 芳酮
三、 西洋踊 キ
ヌ
メ
ツ
集

ラボムへ

八四五二二 00.01

六二五

三十匁)お餅(

(一把) 煮 (二十) 推 (二十) 煮 (二把) 煮 (二把) 煮

五四月四三

のは是



仰るいのである。角である。角である。 おおってる。



赤銅や銀は理想的ではない

お

**** **** **** ****

地から

十原因になります。 此の注意を怠る。

豆類、小魚の骨、野菜等を 特に競資期のお子さん方には 特に競資期のお子さん方には

野菜類をそれ、原油、鹽湖磨油、鹽湖原油、鹽湖かへ、部鉢がかった< ★、三〇 國民 濱江省管下

八二〇 国 三日月初

八三〇時

(m)

風間一新しい生活が楽るんだ ・ これ、何ら言へば良いん をせう…もう寸時、居て下 をからいと をからいと をでせる。何ら言へば良いん

報制・量あた」かに順等 な (議) 原のついけなるほこり気に 環 天 るほこり気に 環 天

選を急がねばならないんだ にはゆきません、僕は僕の さいません。

かど折れて目につ

がらン非道い女ですわねえがらン非道い女ですわねえ

たとる たとる たとる たとる

の今日

が來たんだ…そ

取る)全くだ、今日つ、帽子を取り、ステッ

海苔卷の大きな鉢やかる

満洲ベン 俱樂部

くン電報?

安にかられ扉を開

七點休山、麻姑、寸々、隆出不城、平原城、不原城、八點朱城十四點稱寒、十點多二、九十四點稱。

(手早く取つて、扉を强くがら贖む)

前にある歌留多とられて

る…家にて待て、欄

澗直

久留島協 特別議和路皇二派開路 持別議和路皇二派開路 東

3

カも無く闘つてくるでせられて平しるんだ。 に養はれて來てゐるんだ。 に養はれて來てゐるんだ。

統し

と思ひますわ、考へただけでも吃驚りしますわ。 風間ー若しさらなつたら、成 問題だ、仕方無い…間違ひ だらけなんだから。

T

よう出獄したでせられ

和音、扉の前で立止る、(ノック、寸時、再びノック) 最に進み) 誰方です。(外 扉に進み)誰方です。(外

ス合

秋子ー誰か階段を登つて來る くく上つて來る人つて滅多 にありませんわ。

なるま

をそれが文第に洗されて行をそれが文第に洗されて行をたれが文第に洗されて行をたれが文第に洗されて行をがの固まり……でも、その数の固まり……でも、その数の固まり……でも、その数の固まり……でも、その数では、

です。君の純情な気持城初の間は感心してゐ

りをよく見てゐて下さいま の無に貴方にだけ縋るわけ には行かなかつたんですも の…でも貴方は私の働き振

新年文藝三等入還

大子・二年前と今とは私は随 分變つたでせら。 別と言ふ點では少しも變つ ちやあません、唯二年前の ちやあません、唯二年前の たが今は純性な風格を持つてゐ たが今は純性な風格を持つてゐ 生活の季

下

ちしたらいゝんでせら。 風間ー日頃の君にも似合はない…後は時間の問題なんだ 秋子ー細願ひです、胸がそは そはして、教べて下さい… 私、こんなこと初めてです わ…胸騒ぎがして、御願ひ です、…お酒でも吞んだら よさそうな…ぐるぐる廻り が…何うしたらいゝんでせ う。 くなる、 時間が経てば何でもな 誰か変ます、誰か廊下

粉雪譜 近東綺十郎 える間開いてゐる。

SFIRE ゐる…嬉しいのだらら。風間一神經が尖つてしまつて ち、笑つて良いのやち、何 ち、解りやしない(立上つ ち、解りやしない(立上つ ち、解りやしない(立上つ 33 ...

ま、さアロ紅をセ 合がやありませんか は秋晴れの好い、お が気持を悪くしないで下さ い、御願ひです、御願ひで す。 風間しもう其處に來てゐる運動間しもう其處に來てゐる運動がやありませんか:今日は秋晴れの好い、お天氣ですよ、さア日紅をおつけなさい、變もきちんとして女の身だしなみです、それからお湯を沸して新しい、樂しみのない、僕は氣分良く出て行き

風間ーそんな事位、直ぐに忘れてしまるものですよ、さようれてしまるんですよ、さようれてしまるんですよ、さよう 靴音の消

的に活気を呈する事と思ふ。 今後も矢襲り每木曜日に例會 を希望する句會についての御出席 を希望する句會についての御出席 雜草俳句會詠草

新年句會一

長唄

文化譜

杵家彌壽清

申込所

新京室町一ノナ九 (田中ビル前)

* 寒暖の凍 **外館の御旗動か以初日かな** 手の跡の疎てついてをりはね 初明が拍手さゆる神の苑

尺八

零古流

上起

凍土につとめ慣れたる異郷か ・ 安隆

拍手のこだます森や初明り大匹や中天の星殿かず、大匹や中天の星殿かず、

風間-反つてい になつてしま まつてゐる、

唯私にそれが出來るか知ら

秋子― 水ましたわ、何らしまれ子― 水ましたわ、何らしまです際れる事はない。 風間―際れる事はない。

新年俳句會

結果をもた

風間一君はも

だつて解つたもんぢゃ

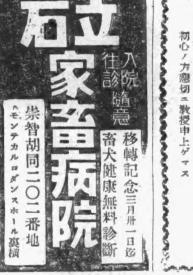
製削しこょぢやない (靴音、響いてくる)

窓に走り寄る、頭を延ばして窓の外を眺めてゐる、秋 の溫みを持つた光が秋子の 全身に浴びかょつてゐる、秋 の動きが見える(幕)

とんなに朝早く降つて

常のことで頭を取られてしまつてゐるんだ まつてゐる、そんなに敏感 いない。

7 何卒多少に不拘 喫 新京吉野町 1 (出前四班) 御試食を チュウ





公館に優の間あり脳等 とき 稍 城 し風ひ看護婦 · 胸桁

出來ま

私は獨りで…

豚まんぢゆう (御飯附)金一園五十銭 金質圖以上

野食温速

店生 九

廣告御用命は電話。IIIIIC ふぐ料理 朝日堂 語三一四〇 (大小・宴會仕出し) 大阪一 なべも 品料理 O 番 O 事が 念語













NEW ONE ON ONE WAS S **八院** 隨 意 京蓬萊町 正日 (MANARELY で) 上日 (MANARELY て、かやりな舌標を瞬はふことをかせ、女字鑑りの暴飲暴食にく気は、はち切れさらな健康に

態の標準は、

機に、食匠蔵造、消

と」を信頼しなかつたかと競侮

は、者素(わかもと)中の多職のは、者素(わかもと)の服用でせら。それは、質行せられてゐるのは若素(わかもと)の服用でせら。それ

表 て効果健はしい類似品(酵母)と むますが、近衆その配僧を利用し が果健はしい類似品(酵母)と

最品の中

ーム・ク

は、若素(わかもと)中の多種の なお飲めする製造もありますからは、若素(わかもと)中の多種の なお飲めする製造もありますからは、若素(わかもと)中の多種の なお飲めする製造もありますから

無東京市芝公園・同工製業の武庫社工人分井銀 注射不要の世界 上外不要の世界の世界

公園・同仁製菓株式會社

ないが提であります。 以上の側は、全財の抵抗力を はいが提びあります。

日四五戦へ小兒には一日働か二三 日四五戦へ小兒には一日働か二三

く頃は、はち朝れさうで世界、花咲けますれば、昭和七年春、花咲

(8

項固を胃腸病で

と、 だれたり弱つた着物は重なこと、 だれたり弱つた着物は重などを はり混めすぎをつけ、肌着などを はり混めすぎ

家庭ではのべつ必要な要でありまするのですから、感覚別の今後、 するのですから、感覚期の今後、 を選をも、福り継い丈夫な聴覚に

闘索つきぬき 祖

四等

五

める方法と、

心身共に衰弱したが

多酒卷良

少年期以後に、強極的に感情に罹いので、 気浴を充分にさすことが脱裂で、 気浴を充分にさすことが脱裂で、 気浴を充分にさすことが脱裂で、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 、 、

上て職内の抵抗力の飛動を計られ

る家庭は、近來、假に強えた様で

と)は東京芝公園大門際、受養と

でも解放は突翻的に配って子供のないないが、解とまで云はれるほど種々なる解

一つは、整内に侵入した網膜をおけれてもおいそれと処質になれるし、今

噴霧器と

流行型バ

事公用文目

消火器

新新な

生命を終ふ點で、最もおそれられ

照胃の療防には、寒さに動す

を溶解して、網膜を喪失せしめる 若素(わかもと)には含まれてゐ ますので、網質的にも間炎臓など があるとができまれてゐ

若素へわかもと ますので、 質点

を受けては、寒さに動するの姿がには、寒さに動する れには臨外から抵抗力を強れたは臨外から抵抗力を強

のであります。

(わかかと)

飛む骨酸過多粒に黙しては重なす物となった。 大変を での 胃臓病の 旅法は、 修正までの胃臓病の旅法は、 修正までの胃臓病の旅法は、 修正また。

総に活力を與へてその機能を健

胃腸の衰弱した

下痢を伴ふ腸の病

險人

子供の風邪に特に御注意

发

李

(六)

其間内には十数種の

近項拾版既で評報

病

脱そのものから丈夫にしてゆく極原療法院だけに作用する難症療法のみに難つて、大きなたの胃腸病が癒らぬのは、個々の症 に迂遠な爲ではないでせら

、それは今夜の飲はから推 ところが最近評判のペーフェと いか 無職を 攻に錠にされた 若楽 (5) いふことは、なか (慰み職いの を観至に並属す作用はいに目覚まて災して緩散から胃臓減を膨すと ありますだけに、その胃臓の機能がのでありまして、新らした化学、全な状態に選らしめ、緩脱から胃

方は一生不治の様に思っ

れてゐる「無胞賦活作用」

める必要はなく、簡易に法によりますと、次して

巻 様に治療成既がよいといはれてる 果しかない仏際観解に比べますと (わからと)を服めば、質液の分 例へは、胃酸過多症の人が若素 在來の極限された階征的効

ますし、また便秘ならば一日。 ・いふ風に、胃腸病に汎い効果のありますのは、就適の通が得られる様になると の組織組成が、再生は、 の組織組成が、再生は、 の組織組成が、再生は、 のと、 でれ持ち前の機能を充分に関連す 一般界から非常に重視されてゐるの 関上「無壁融話作用」といつて為 関上「無壁融話作用」といつて為 ので、この若素(わ

吸收の機能も自らな 下痢便は正常となり らがよくなって

每 剧 月 一五 ルーニケ月卒業 ・二ケ月卒業

開

率天滿州自動車學校 三十名 服教科雷及参考高尊 一三十二間也 ク ・一ヶ月十五個

@ c- C-~ 夜畫 部部

がふべきだ」と解唆させた程であり がアス博士をして「之は食飲薬ともがアス博士をして「之は食飲薬とも

胃動病の治療と受査の解析に著効がます。若素(わかもと)を服むと。

製られたものであるからです。 の全成分を活性のます。

栗で

學則證星

との

素晴らしい 大景品

流洋八騎新大行 端雨錦標 特等 面百名

プラターム シニ色シャープ鉛筆 の方へ漏れなく左の優待 掲揚の販賣店でクラブ美洲は内地三同様本備しの 何れか一倍を其の場にて ム(又はクラブ淡白クリ ン大シバッヨ 一萬五千名 (対対別)

クラブ美身クリ中山太陽堂 ▼送り先

發表 2月下旬 昭和十一年 三月下

品質優秀な

特約店

日本賣藥會社

と は から できる 場合に ソトさる 場合に ソトさる 場合に ソトさる 場合に 対例に入れて おり 変地

関の三頭を申請配下さい。 にお近くのクラブ はお近くのクラブ はお近くのクラブ のクラブ

何枚でも御鷹寿出(他の用紙でも可)下さい

ロ)御住所及御姓名

大學病

院

0

强

貧血に=衰弱に=病後に=

母よく。白粉下ごしてもきが達の使つて居るのはアレヤねましたら。皆一樣に 何クリームでせう? われのしない特殊な効果やサメを細かにし、自粉がした。日ヤケ止めに

あなた方がいつも使つてゐる クリームは何で娘、飯塚敏子娘に東好太郎氏がある路上で入江たか子鎮、川崎弘

昭和十一年二月末日まで 日延べ決行ノ

大好評につき

販賣店頭大好評

白熱的大人氣

皮小内產小產內產 膚·婦兄婦婦婦 心兒外人 人 年 派入 中 出 院 随 休婆時 新京梅ケ枝町三 # 伊白 江 佑 正保 貞枝 津 四

日清製油會社製品 大豆サラダ油 対対 カーカー 新京代理店 新京朝日通八三 各種外髓 抽油 (3)二十四五 化粧類四合入

栗原武免先生創製断然ヨクキク……コロイ九州帝大将恩部研究室婦人産前産後、コドモ 大連、奉

本 () 本 (

公會堂利用實

1 -

に廿六

H

完成

近く道場開き

電

な弘

道館

道北

映畵館は飽和狀態

月景氣に煽ら

州澤中佐諄 々所信を述ぶ

水

出來る、この事態を洞察し で善臨されんことを判士長 第である を述べ、終つて十一時十五分

皇軍

詰し相澤中佐の忠誠の意あるした」とて軍當局の處置を難

いと述べ感極まつて

永遠に真相を葬らんと

原生務官の審問に入ったが此 時突然端非辯護人立つたが此 時突然端非辯護人立つたが此 時突然端非辯護人立つたが此 時突然端非辯護人立つたが此 時突然端非辯護人立つたが此 時突然端非辯護人立つて裁判 長に對し申立てを爲さんとし 再び緊張が延内に漲る、滿井 一種に押止め、異常な緊張型に 再び杉原法務官の審問に入る を七月士六日と知つて上方 したのは何日頃か したのは何日頃か したのは何日頃か したのは何日頃か したのは何日頃か したのは何日頃か したのは何日頃か したのは何日頃か

感られた電文百餘通を讃いたれた電文百餘通を讃いて九州、四 所護人は鑚いて九州、四 所護人は

と經路を述べ 京都では友人への土産を買 京都では友人への土産を買 つた程で出級の時は全然そ んな事を考へてゐなかつた が考へつめた結果選に效迄 狭心させたのである とて東京では一旦偕行社に入 つて神田で短刀を求め、午前 では何社に泊つたことを 述べる

でとしてあるが、それは質 「ない」のであります。 をいから東京に行く事中で現下の から東京に行く事中で現下の がら東京に行く事中で現下 がら東京に行く事中で現下 がら東京に行く事中で現下 がら東京に行く事中で現下 がら東京に行く事中で現下 がら東京に行く事中で現下 の状態を思ひ維筋の志士を となく吟じて事中永田局長 となく吟じて事中永田局長

前途には、之等を終合して を満大私然に基いて腐蝕し を満大私然に基いて腐蝕し を満大私然に基いて腐蝕し を満大私然に基いて腐蝕し を満大私然に基いて腐蝕し を満大私然に基いて腐蝕し を満大私然に基いて腐蝕し を満大私然に基いて腐蝕し を満大私がに基いて腐蝕し を満大私がに基いて腐蝕し を高さいるでは温をを思いて腐蝕し をできるでは温をを思いて腐蝕し を変したのでは、では、 では温を変した。でも敢 では温をとなって来る では温をとなって来る では温をとなって来る では温をとなって来る

新情落腐敗 閉廷、 尙

大回は二月一日再開さる等を細々と述べる 閉廷、 かくて三時二十分 閉廷、

桃園女將から

んでした、連視すれば質に 家の元老、軍臣等は私然に まり日本を狙ふ外隅の手先 をつとめてゐる標なもので をつとめてゐる標なもので をつとめてゐる標なもので せん と手を振り上げ尚一轉し 一方関民に就ても申上げる 私の生れ故郷は東北地方で あるが働くのをきらふ子女、 あるが働くのをきらい子女、 あるが働くのをきらい子女、 あるが働くのをきらい子女、 あるが働くのをきらい子女、

「本溪湖園酒」東邊道開版の 女將松村ウノさんが新京署を 大討伐を行ふため数日來待機 訪れ不幸な野上一家へ登上げ の姿勢にあつた警察職市顧、 に行動を開始した、市瀬部隊 に登点部隊の一隊は徐家堡市を ので保安係は早速野上家へ贈 が、大学女第二川 で、数を許可し、来る二月一日 を阻止すべく警戒中で、卅日 入學式を學行する事となつた ・ 11 ・ 21 ・ 21 ・ 21 ・ 31 ・ 32 ・ 32 ・ 43 ・ 43 ・ 43 ・ 44 ・ 54 南 間に於て所賊の鐵道橫斷 中前中既に本溪湖以南橋頭以 北地方に蟠居する所競約六百 は袋の最同然に包園され其全

新版滿洲經濟 地圖出來上る

i

服鏡 3 計 前場留停スパ電滴通橋本日

店計時堂正大

本

0

果邊道匪賊 大討伐を行 警官隊一齊に出 0

謝

動

上厚く御禮申上

三年一月三十

町三丁

海

中村繁松、川口忠

中村繁松、川口忠

中村繁松、川口忠

中村繁松、川口忠

中村繁松、川口忠

中村繁松、川口忠

中村繁松、川口忠

中村繁松、川口忠

中村繁松、川口忠

、、、、文英

康衝衝

^{德場}日 岩三所時切格 滿年 洲

而中央銀行人事課 (三) 三九二家

新京、總行二月十日午前九時二月六日迄履歴書送附一の成經驗アル者

数に不取敢紙

清情報社

H 社 長高 井

新京與安大路六(

一一五六六

滿情報社

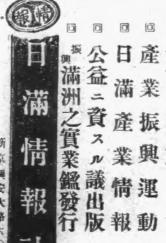
本第十師國司令都 尹字七、 松村清明、松村清實、鬼養 松村清明、松村清實、鬼養 人、申保皶、安武久雄、方 字矩、康世恒、李根魯、川 田榮、大島昌 本步兵第八旅廟司令部 岡山 養越、平野萬次郎、小松多

言にある。 言手があった。 言手紙か上京の時には がなどら見ても概か上京の時に詳した。 がはだらり、 がはでもいいで「君からら」と言いまからり、 ではだらり、 を笑つて「君か得ない」 ではならり、 を笑つて「財政得ない」 はないいではない。 はない、 を変したが、関下に望したが、関下に対ない。 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 と言い、 といい。 といい。

失火御見舞

滿洲國情報社

五



京與安大路六〇

保化の意味を以て満洲館の特 一方満洲層に於ても友邦日 本の意識深き企てに光彩を添 へる爲實業部。消儀、關東局 特が協力して蘇洲を紹介する 等が協力して蘇洲を紹介する 等が協力して蘇洲を紹介する

て活躍した屈蜷人の論功行賞 事變行 雇傭部 際氏名

ラート 一三十日午後ダイヤ街待合桃園 で、選に他界してから社更に さへ選に他界してから社更に かびしい暮しを送つてあるが では病状の父親 岡面に一段の色彩を

性病科 竹田 静平 内 藤 千代 石 井 昌子 (產資減遺售需)

日本橋通れー(朝日通角)

電話(3)5689番

設しま

務業帶附 謠 代理部

東京・己んや代産等 美

術品取扱

畵

で交戦

・販売は歴史をつつ

の出版物販賣部又は販賣希望者には別に

會が開催。各地共日滿親善闘 動に依つて此の鄭を除き社員 月櫻院く候を期し一齊に博覧 る爲め、之に代るべき屋内運大阪、顧岡各都市では陽春三 戸外運動が甚だしく阻害され、 に意を注いであるが特に冬季 でより長慶衛(社宅街)に武道弘道館を新築し内部の設備を急ぎつつあつたが此の程理を急ぎつつあつたが此の程理を急ぎつつあつたが此の程理を急ぎつつあったが此の程理を急ぎつつあるが社員の土氣刷衝に益する所甚大で非常に敷迎されてある、期間は廿七日より二月八日までの十三日間毎日午前十時より十一時まで)で二月九日午後一時からは寒橋下五段が再心付しは、大に行ぶ豫定で、駒剣道には練士藤下五段が再心初心者の指導に當つてゐる

言官重傷負 =昨夜宵の口朝鮮人宅に

2

八組强盗現はる

助産應召祭 宅診、 、往診隨時

ダイヤ街永樂町一丁目四(八島通東人二軒目) 電々會社 々宅 時約 「四四(八島通東人二軒目) サンゴクコイナ イや街永樂町一丁目四(入島面東人三軒目) 熊軍化用 官舎 嘱託 産婆 丁野

里棉本日

市内永學町四丁目五番地雑貨・大人の金全部は城内科事敷島機その金全部は城内科事敷島機ぞの金全部は城内科事敷島機ぞの金全部は城内科事敷島機ぞ

入兒童の申

込みは

なるべん

郷里で捕はる

原酒山

(日)

0

(c)

周

月を押切つたが、この月活況を呈しつゝ見事正月活況を呈しつゝ見事正月活況を呈しつゝ見事正月

口縣能毛郡三井村生れ

あす愈よ開校 三笠さ櫻木の兩校 百四列車より直通を見た 大時發二百一列車、吉林發二 大時發二百一列車、吉林發二

取 残したまる家出した市内常盤 を関したまる家出した市内常盤 を関いまる

に零下三十度のさむ夜を夢遊市内を徘徊してゐたが故郷の市内を徘徊してゐたが故郷のを死を見止り家出二十七時間で中央通り中央郵便局前にでかった。 「個一氏が殺見、通れ戻つた

當時の情況

負傷した宇都宮巡査語る

急手續きをとることを希望し 地方事務所では未申込者の至

現在までの申込み

八百餘名

三人組の拳銃强盗・

て家を飛出の家を飛出

秀な技

術

術

鴻

小西点

3

たので同所勤務宇都宮巡査、 ・川巡査は現場に参行したと ・ た雨巡査は現場に参行したと ・ た雨巡査は直に交験し賦を駆 ・ 提したが、宇都宮巡査は右腕 ・ に貫通銃剣を負ひ藻轍病院に ・ に貫通銃剣を負ひ藻轍病院に ・ に貫通銃剣を負ひ藻轍病院に ・ で で の で 同所勤務宇都宮巡査、

し直に北六條派出

新設三笠、櫻木南校の開校は 一日開校することに決定した 間日三笠校は午前十時、櫻木 様式を行ふ豫定である、なほ を設校の涌車區域も二月一日 から新通壆區域を二月一日

内地博出口の

地形偵察の歸途

日挨拶に楽祉した日挨拶に楽祉した

車の落し物

挨拶に來社

7 眼鏡なら と 1 一支

店

清

堂て

市,

洲國軍警慰問袋 四月一日からの新學期を控え ・ 会名の多数を残してある・四月八日を ・ 会名の多数を残してある。これは申込者の方で手続きを収 ・ 会名の多数を残してある。これは申込者の方で手続きを収 ・ の変集を行ひ去る一月八日を ・ 会名の多数を残してある。これは申込者の方で手続きを収 ・ とに原因してあるもので、新 ・ をに原因してあるもので、新 ・ とに原因してあるもので、新 ・ とに原因してあるもので、新

自動車衝突す 濱中軍曹遂に逝く

れた佐藤誠一れた佐藤誠一

IIK. 二三(3)電町野吉京新 店支

國旗揚揚式に 謹話 伯

△一月廿三日西三馬路東四條
通ナマコー罐
△廿四日公會堂濱、黒毛織物
十一尺
△廿九日西公園前中央銀店架
色スケート用帽子一ケ
ムニ十日西廣場鴻鏡階院頼淵

御

指

定

るレンズを御選定下

膜鏡は肉膜の延長です。正確な 要力に異狀は側座いませんか?

日は五柴武大総氏から五十個、まで監測した は五柴武大総氏から五十個、まで監測した。 は五柴武大総氏から五十個、本は締切り期日は二月十五日 で は五柴武大総氏から五十個、本は締切り期日は二月十五日 で たは締切り期日は二月十五日 で たは一次で表員から申込 に たは一次で表現から百個の申込があった。た たは一次で表現から百個の申込があった。た

(七)

佐藤氏

が、此人観は本年度のベルマ 東京関通』 水上日本の名は 第十回4スアンゼルステオリ 本ピック大會後世界の水上額 かしい存在となった が、此人観は本年度のベルマ 我水上選手 林大會後の

実に召され 物機式は二月 が が はれるが

職職の好美人事性の親族を受けて、 自職事を衛犬機事の取宅に乗りつ 自職事を衛犬機事の取宅に乗りつ

一間、取の大駅を、

事件が事件だけに、

しておきたいと、考へたからであ

場から、直に三番町へ駆けつけた

思郷州事が、青自動車事件の現

の問題さつての知識家といはれ

の人物とは?

むものではなかった。

ものには、出来るだけの助力を悟

まないで、それを語る前に原者は いたな役割を演ざるであらう今一人

すがに生頭に立つて犯罪捜査に驚き機能も必須に入つてからは、さ

其他御吞みもの一切り、洋酒、コーヒーり、洋酒、コーヒー

機能も密境に入つてからは、

らうとはしなかったが、それでも

内海研大郎は、一時、どこへ続け

暗示や助力によって、動坊を立て

御會席に!! 御宴會に!!

それより

今までにも、彼は、清水気が

情水域事の

に男は、何のために兇器を持つて

からして簡明二番明の高水機事成からして簡明二番明の高水機事成

場長らとともに。現場の検費に出 がは報告に接すると。石井捜査

しから、

この雑紙は、見事的中

門月十九日の午後十一時中頃のこだから、正確な時間をいふと、 から約二時間無後のことだった。

利的

こいつは少々厄心な事性だ

彼の第六版は、現場を機器した

ヘブリン 丸まれ

かぜぐす

流どころ

です

門者 路光

種態つた紫人標底としてよりも。一へば本職の機事としてよりも。一

一院あの不見器(既に難して、日頃から凝胶の飲碗

て叫んだっ

らずあつた。

あット

短刀がなくなってる

ながら、恐々と自

原動手はさら答へて、



小探領 (禁止映)

ってゐてくれると、 自動車 いつたんです 問したについては、無輪それ相當 森 技》

新聞記者帰聞では、情水敗事といだから、世間では一つわけても

本大阪商船株式會社支店 國際各地運輸會社支店 要天事務所 電 17-11 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 東天事務所 電 17-11 新京事務所 電 17-11 東天事務所 電 18-11 東天事務所 電 18-11 東京事務所 国 18-11 東京事務

れより概されてるといふのは、 れまでも、彼はしばん、先頭に立れまでも、彼はしばん、先頭に立 生れた鋭い頻響と、長い經**般を巧** 能に触究してみせたことが一様な 密検事情水深造は、二十数年にの理由があつてのことである。 犯罪。それも殺人事件に難してはわたる長い機事生活の細胞から、 してゐるやうな戦事性を、 |三角、鹿兒島、沖繩行||三角、鹿兒島、沖繩行 告はり志扶重りばた 熟 るらと 楽利りかま がるるを 加いるま 九丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸 切符發賣所

この内だね?

間二ヶ月船一側引、通用期間二ヶ月船中道絡柱復切符は汽車二船中側引、通用期間一ヶ月 路弾賃ニ劇引、通用期間三大雄より乗船往復切符は復間二ケ月

是非御 定許あ

(及 院·隨 意)

病、痔疾科 小兒科 D ン中毒 £

お肌に

を若く

健や

N

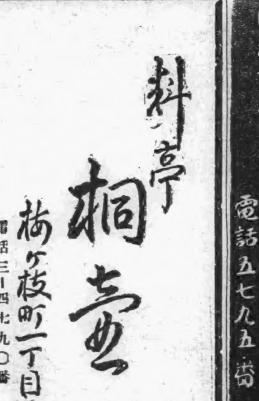
0

3

流行性感胃に **恭安洋行代書** 新荷着! ふとん…わた類は る篠 用命を 田 -三七五六春 0 (にメ止レア) 花名の洋東









其他土木建築諸材料西 新京ダイヤ街老松町

恐るべき鼻病の

最危険期である!

奏ドクトル父子二代研究の結晶に難治の鼻病征伐は「湊式」治療器で

番学上 朝日通り二一へとどろき前 倉庫事用3六二六八番(新京倉庫内) 山涧





電話三一四七 九〇番



代理店 村中兄弟·高橋

御申払次第。具務新治療法、無代施品致します。 書でわかり易く認めて左配の何れかへハガギで 評価な説明答を御希望の方は、住所御氏名を提

一、評判通りよくさ、使用後爽快なる事で一、經濟的で一日の費用僅か五六銭の事で一、中毒や習慣性に陷る不安の絶無な事で一、殺菌消炎滲透作用に富む油製剤の事で

あり、理様的最新鼻病治療法として質問を顧る脈ですの吸縮液と吸掘器との合理的な組合せが「蒸式」の特徴

一、ボケットや袂に入れて携帯自在の事。一、頻學執務中も片手で自由に出來る事。一、頻常一本吸ふほどの手數で出來る事。一、桑粘膜を損傷せず安心して使へる事。

提供するに到つたのであります。 「湊式」吸癒器の特徴

と放果との三郎に周到な注意が描はれてるるため、と効果との三郎に周到な注意が描はれてるるため、と効果との三郎に周到な注意が描はれてるるため、と効果との三郎に周到な注意が描はれてるるため、その生涯を捧げてるられる談ドクトルの熱のことといはればなりません。一般民衆治療養の影響はは、選に鼻病治療器に此新しい治療器と治療液と

の病氣の悪化し易い冷たい外氣を吸ひ込まればならぬ時候であります。 帰病賦者は此際特に注意ならぬ時候であります。 帰病賦者は此際特に注意がならぬ危險期です。 熱汗の出る人、熱のつまる人ばならぬ危險期です。 熱汗の出る人、熱のつまる人ばならぬ危險期です。 熱汗の出る人、熱のつまる人ばならぬ危險期です。 熱汗の出る人、熱のつまる人ばなりません。 そうでは、 を治療に失認された身神の裏門質に遠隔な人達は、 を治療に失認された身神の裏門質に遠隔な人達は、 を治療に失認された身神の裏門質に遠隔な人達は、 を治療に失認された身神の裏門質に遠隔な人達は、 をおけばなります。 百萬人以上の使用者から、マスコットとして重響 で、一般で、一般によりかれて居る最新鼻病治療器「後式」は、創業者が全 等にありかれたインテキな一夜作りの製品と全く子 等にありかれたインテキな一夜作りの製品と全く子 等にありかれたインテキな一夜作りの製品と全く子 で、一般面 を製にし、その器具の機構の理想的なこと、 で、一般面 を製にし、一般面 を製にし、その器具の機構の理想的なこと、 で、一般面 を製にして、一般面 を製にして、一般面 を製にして、一般面 を製にして、一般面 を製にして、一般面 を製にして、一般面 を製にして、一般面 を製にして、一般面 を製造して、一般面 を製造して、一般面 を製造して、一般面 を製造して、一般面 を製造して、一般面 を関する。

